

はなみずき賞

生き物と環境

白金小学校 阿部 里央

私は環境問題について考えることはありませんが、生き物とかんきょうの関係について考えたことはありませんでした。私は家で生き物はかかっていません。でも、ニュースや新聞、本で、

「こんなことが今おこっているんだな。」
と思います。とくに心にのこったのは「水質汚たく」や「北極の気温」です。

水質汚たくは水がきたなくなり、水の中の生き物が死んでしまいます。たとえば五年二組でかっている、めだかはもともと川にいます。でも、水質汚たくで水がきたなくなつて死んでしまうかのうせいもあります。五年二組でも、水をとりかえないこともあるので、それは水質汚たくとはちよつとちがうけれど同じようなものだと思います。そのため、生き物係になつたらめだかのせわを、毎日したいです。

次は北極の気温です。北極は年々気温が上しようしていることで有名です。私は

「気温が上がると、どのような事がおこるのだろう。」
と思いました。そこで、図書館に行つてしらべてみました。

それで、

「北極の気温があがると、夏が少し多くなる。」ことがわかりました。もう少しくわしくしらべると、それで、北極グマが死んでしまうかのうせいが高くなるとわかりました。

私は、

「地球温だん化で、とうとい命をもがなくなつて行くんだな。」
と思いました。

かんきょうは、生き物の命をうばつてゆくのです。それは、とても重大なことであり、少しすれば私たち人間の命をうばつていくかもしれないです。

「それは、とてもいけないことだ。」
と思いました。そして、

「かんきょうと言うと地球温だんかをそうぞうしているけれど、ぎせいになつていいる生き物のことを一番に考えなければ、いけない。」

と思います。なので、「生き物を保ごするのも、私にだって少しはできるはずだ。これからはそういう取りくみにさんかしてみよう。」

と私は決めました。

これからは、今まで以上にかんきょうと生き物のことを考えていきたいです。